

憧れているうちに行こう

南アルプス 尾白川 黄蓮谷

佐藤（里）

【日時】 2013年9月21日(土)～22日(日)

【メンバー】 寺内、煤孫、佐藤（里）

沢を始めてからずっと憧れていた黄蓮谷、先輩方からは有名沢は人が多いだの、あそこは転進先だのと散々な反応だった。そんな諸先輩の姿を見ながら、これは今のうちに行かないと感動が薄れちゃうぞと危機感を抱き、比較的フレッシュなメンバーで2泊3日と余裕ある行程を組んで計画実行した。

竹宇駒ヶ岳神社で仮眠、翌朝タクシーで日向山林道ゲートに向かう。ゲートから林道終点までは1時間半ほど歩くがその間に甲斐駒が何度も見える。ずいぶん近くに感じるが標高差はすごくてドキドキだ。林道終点からトラロープを使って谷に降り立つと、南アルプスらしいエメラルドグリーン清流がキラキラと迎えてくれた。すぐに現れる大きい釜を持った滝や有名なワイヤー滝などを越えるとき火の香りが…他のパーティが鞍掛沢出合でキャンプの様だ、うらやましい。

尾白川下部の滝では巻き道にロープがついていてまるで登山道のように歩きやすい。もしかして山頂までずっとロープがあるんじゃないかとさえ思ってしまう。やがて花岩と噴水滝が現れたが地形図と位置がずいぶん違う。続いて獅子岩も現れ、ほどなく黄蓮谷の出合に到着した。

ここからは水量がぐっと減るが滝の連続となる。黄蓮谷に入ってすぐの8m滝では左岸を小さく巻こうとしたら踏み跡が途中でなくなり、寺内君が微妙なバランスで岩壁をトラバースしてくれた。最初からべしと頬を叩かれたような滝、さすが黄蓮だと感心したが、そのあとの踏み跡は全て明瞭、きっと今の巻き道は間違えたんだろうな。インゼルの辺りは日当たりもよくテン場適地だ。岩魚も10匹くらい釜で泳いでいる。ここで遊びたい心をぐっところえて先を進むとやがて千丈ノ滝が見えてきた。多くの記録では3段となっているが実は4段であることを寺内君が発見し、正しい記録が残せると大喜びだった。中年二人はそんなことをあまり気にしていなかったが…



やがてつるつるスラブの坊主ノ滝だがこれは右のルンゼから巻く。その後左俣を越えて大きなナメとスラブの中を歩いていく。とても気持ちいいがこのあたりからぐっと傾斜が増す。フリクションを効かせて登る滝が多くなり、やがて行く先に奥千丈ノ滝が見えてきた。行程ではこの手前で泊予定だったが、まだ2時にもなっていないので思い切って越えることにした。ここはスタンスはしっかりあるので注意すればロープを出す必要はない。途中トイ状滝で微妙な一歩があり、ハーケンを打って越えたがここがどうや

ら核心の逆くノ字滝らしい。もう滝ばかりで自分の位置が分からなくなる頃最後の滝のバンドを越えて奥千丈ノ滝が終わった。と、ここでもたき火のいい香りが…今夜宿泊予定の一等地は既に先客がいたのだった。仕方なく更に取り上がり、烏帽子沢下の幕場跡地を見つけ泊とする。葦崎の街並と八ヶ岳が揺れる絶景だったが、たき火の下を細い水が流れていて、しかもすぐそばの滝からも冷たい風がやってきて火を焚いても寒く、宴会もそこそこにツェルトにもぐりこんでしまった。

翌朝、昨日の行程があまりに順調だったのでここから先も楽勝でしょう、とタカをくり少し遅めの7時出発。ところが核心はここからだった。烏帽子沢に分かれる滝では私がクラックをフリーで取りついてしまい、途中で登れなくなり横から登った煤孫さんにロープを出してもらった。また、スラブの小滝では右から簡単に巻けるところを直登してみよう！と遊んでしまった。奥ノ滝と思える三段滝では苔のついた一枚岩をクラック沿いに取つしたが、お助けをつないで登ったため時間がかかってしまった。と、その先に本当の奥ノ滝が見えてきた。じゃあ今まで苦戦していたのはなんでもない小滝だったのか？やばい、時間がかかり押ししてきた。幸いこの先は明瞭な踏み跡があり、それをたどりながら上部の大岩を越え、目の前に甲斐駒山頂を見ながら最後のツメとなった。が、左に進路をとったため藪となり山頂のギャラリーが見つめる中濃い笹藪と格闘する羽目に…ようやく黒戸尾根登山道にたどり着き、フラフラになりながら山頂へ向かう。



目標の12時到着は少し超えたが無事甲斐駒ヶ岳の三角点を拝むことができた。やったぜ！記念写真を撮って装備を解いて下山を始めた。かなり疲れていて予定通り七丈小屋で泊まろうかなと思ったのだが、小屋に到着して再考、今ならぎりぎりヘッドンなしで降りられるのでは、ということで下山を続行した。おかげで18時に竹宇駒ヶ岳神社に到着、予定より一日早く、といっても一般的な一泊二日で全行程終了となった。

下山後、3人で固い握手を交わしひとこと、「いやあ、行けば行けるんだね〜。」正直自分の力ではまだ早いか？と思った谷だが、同じレベル(私が一番下だけど)の仲間と団結して難所を乗り越える瞬間は格別だ。同行してくれたメンバーに感謝感謝の沢旅だった。

【グレード】3級上

【行程】

